



北海道美幌高等学校だより

第22号

月刊

報徳の風

平成30年1月23日発行

北海道美幌高等学校 0152-73-4136

ASIA GAP認証

国際的な農業生産工程管理であるアジアGAP（ASIAGAP Ver2）の取得を受けました。

国内の学校では初の取得です。品目は本校自慢のトマト。農場環境や生産工程ごとに設けたチェック項目に沿って、安全を確保し持続可能な農業生産を目指してきた取り組みが実を結びました。

本校には農業を後継するために学んでいる生徒も多く、GAPとはどのようなものか、健全な食のあり方とは何か、そして安心安全な食料生産とは何かを学習できる環境を整えることができました。

※ GAP（Good Agricultural Practice）とは、農業において食品安全、環境安全、労働安全などの持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みであり、そのGAPが正しく実施されていることが第三者の審査により確認・証明されるのがGAP認証制度。



美高 SHOP「白樺坂」次回は2／10（土）



2／10は本校内SHOPにて、姉妹校である高知県立幡多農業高校から届いた文旦を販売いたします。

開店時間は10：00～12：00を予定しています。

多くのお客様のご来店をお待ちしております。



ホームページも是非ご覧ください。 <http://www.bihoro-highschool.hokkaido.jp/>



美幌高校の授業・行事の風景



理科実験1：テルミット反応（酸化鉄を還元する反応）。青函トンネルが 53.9km のスーパーロングレールになっているのは、この反応の応用です。

理科実験2：エネルギーを抑えて一晩を過ごすキャンドルナイトの授業と合わせて、オリジナルキャンドル作りをしました。



シクラメン販売会：12月13日、本校内SHOPにて、シクラメンの販売会を行いました。厳しい寒さにも関わらず、多くのお客様に足を運んでいただき、ありがとうございました。本校のシクラメンで、花のある暮らしを楽しんでいただけたら幸いです。

美高そば・うどん販売会：12月28日、町内スーパーにて、本校で生産したそば粉・小麦粉を使用した美高そば・うどんの販売会を実施しました。お客様へ商品をPRし販売させていただきました。



鶏の解体実習：1月16日17日の2日間、農業科の1、2年生を対象に鶏の解体実習を行いました。養鶏場より譲って頂いた鶏を一人一羽、屠殺及び解体しました。

授業の内容は1限「命について～農業を用いた道徳教育～」、2限「鶏の外貌観察～進化の過程と現在の姿～」、3限「放血および脱羽～生命から食品に変わる瞬間を体験する～」、4限「鶏の解体～販売されている部位肉を理解する～」、5限「消化器系と生殖器官系～鑑定競技と農業技術検定対策～」、6限「内蔵の処理～おいしく内臓を食べるために～」のように展開しました。

ナイフを持つ手の震えの止まらない生徒、涙ぐむ姿。「生産する」ということは、「生」きることを「産」むことであり、そのことには必ず「死」が同時にあることを理解できたのではないのでしょうか。実習後の確かな疲れの中、生徒ひとりひとりの姿は、ひとまわり大きくなったように見えました。